



世の中で話題になっているニュース等について知り、考えるためのヒントを得られるような資料情報をご紹介します。

ウォークアブルシティ

最近の新聞記事から

「机・椅子やピアノ設置 千葉駅前大通り 活性化へ実験 千葉市」

(日本経済新聞 2024年11月2日) 朝刊 39面

「八幡宿駅前活性化へ、市原市が法人と連携 「むすびあい」を指定」

(朝日新聞 千葉版 2025年5月8日) 朝刊 19面

令和2年9月に施行された「都市再生特別措置法等の一部を改正する法律」により「居心地が良く歩きたくなる」まちなかの創出による「魅力的なまちづくり」、いわゆる「ウォークアブルシティ」という言葉が注目され始めました。国土交通省が推進する“WE DO”~Walkable, Eyelevel, Diversity, Openをキーワードとするまちづくりに賛同する自治体「ウォークアブル推進都市」には、2025年7月末現在、全国から395都市が名を連ねています。千葉県も県として賛同しているほか、県内12市町が含まれています。

「ウォークアブルシティ」には、マイカー利用の減少による環境負荷の低減、歩行量の増加による健康寿命の延長、交流促進によるソーシャルキャピタルの向上、地域経済の活性化などがメリットとして挙げられています。

書名・記事・論文名	出版情報・サイト情報等
ウォークアブルシティ入門 10のステップでつくる歩きたくなるまちなか	ジェフ・スペック著 学芸出版社 2022 西部：51884/30 図書
ウォークアブルシティを提唱する都市プランナーが、ウォークアブルなまちづくりを、「利便性が高い」「安全である」「快適である」「楽しい」という4条件のもと、10のステップで分かりやすく解説する。アメリカの都市を対象としているが、ウォークアブルシティの本質を知るために必読の一冊。	
WALKABLE PORTAL ウォークアブル ポータルサイト	国土交通省 Web 情報 https://www.mlit.go.jp/toshi/walkable/
国土交通省のポータルサイト。法律やガイドラインなどの制度、ウォークアブルな取組の全国展開を目指す「マチミチ会議」の記録などを掲載する。国内各地での事例も紹介されており、千葉県からは柏市の「ストリートパーティー」が紹介されている。	
フランスのウォークアブルシティ 歩きたくなる都市のデザイン	ヴァンソン藤井由実著 学芸出版社 2023 西部：51884/32 図書
「15分都市」を掲げるパリをはじめとしたフランスの各都市が取り組んできた、歩いて楽しい都市づくりの実践を可能にした法制度、人材・組織体制、ステークスホルダーとの合意形成といった仕組みについてまとめる。	

人間の街 公共空間のデザイン	ヤン・ゲール著 鹿島出版会 2014 西部：5188/650	
<p>自動車や建築物のための都市空間ではなく、人間的スケールの「生き生きした、安全で、持続可能で、健康的な街」を取り戻すことこそが重要であると主張し、各国のよい事例、悪い事例を豊富な写真で紹介しながら、都市計画における人間中心のデザインの重要性を説いている。</p>		
ウォークブルなまちを評価する	一ノ瀬友博編著 鹿島出版会 2025 西部：51884/33	
<p>各国の先進事例を概観し、それぞれの都市において、ウォークブルなまちを目指す社会的な背景や動機は異なっているとす。 「歩ける」というウォークビリティを最低要件としつつ、都市構造や人の移動、人の表情など多角的な視点・手法を紹介する。</p>		
ちば・まち・ビジョン ウォークブル・リバブル・サステナブルな都市を デザインする	千葉市都市局都市政策課 編集 千葉市都市局都市政策課 2023 中央：C5188/287	
<p>令和5年9月に千葉市が新たな都市計画マスタープランとして公表した「ちば・まち・ビジョン」でもウォークブルは重要なキーワードとなっている。特に千葉都心エリアでは、個性的なエリア間をつなぐネットワークを「ひとつの大きな広場・公園」のような空間として形成することを目指している。</p>		
世界に学ぶ自転車都市のつくりかた 人と暮らしが中心のまちとみちのデザイン	宮田浩介編著 学芸出版社 京都 2023 西部：6818/39	
<p>ウォークブルなまちづくりの中で改めて自転車が注目されている。コペンハーゲン、ニューヨーク、パリなど先進都市を「ニーズ」「デザイン」「都市戦略」の3つの観点から分析し、そこから日本の自転車政策の現状と展望を考える。具体的な自転車空間の設計ノウハウも掲載する。</p>		
ウォークブルな街づくりに関わる動向調査 ウォークブル推進都市の傾向分析・取り組みプ ロセス	NTTアーバンソリューションズ総合研究所 https://ntt-us.com/usri/reports/pdf/04_USRIreport2022_WalkableTowns.pdf	
<p>2022年4月時点でウォークブル推進都市に賛同している317自治体を対象として、自治体と地元企業の連携した取り組みや、そのプロセスを調査した報告書。街路空間の再構築・利活用においては、沿道店舗などの地元関係者との合意形成が課題であるとする。</p>		
グリーンスローモビリティ 小さな低速電動車が公共交通と地域を変える	三重野真代編著 学芸出版社 2021 西部：6855/15	
<p>歩行者中心のウォークブルシティと共存し、新たな公共交通となる可能性を持つ低速電動車。狭い路地や観光地での活用事例を紹介し、都市の歩行環境を補完するモビリティの役割を考察する。歩く楽しさと移動の利便性を両立させる未来を描く。</p>		
認知症にやさしい健康まちづくりガイドブック 地域共生社会に向けた15の視点	今中雄一編著 学芸出版社 2023 中央：369/167	
<p>医療・介護・都市計画の視点から、歩きやすいまちづくりの重要性を解説する。認知症の人が社会とつながり続けるための環境整備を提案する。認知症の人々が安心して暮らせるまちづくりが、全ての世代にとって快適で健康的な生活を支えるカギとする。</p>		